

米寿、100歳

おめでとう
ございます

金長町長が、町内で今年100歳を迎える方と、米寿(88歳)を迎える方、それぞれのお宅を訪問し、ほう状や記念品を贈りました。

上入野にお住まいの綿引喜代子さんは、100歳のお年を感じさせないほどお元気で、毎日シルバーカーを使って散歩しているそうです。「『いつ

てきます』『ただいま』と毎日元気にあいさつする3人のひ孫の成長を見守ることが何よりの生きがいです」と笑顔で話してくれました。

今年100歳を迎える方々



千波 たきさん (下古内)



綿引喜代子さん (上入野)



廣木 ときさん (粟)



金長 あささん (下坪)



鈴木 ハツさん (下赤沢)



安島 ちあさん (阿波山)

みんなでつくろう安心の街

10月14日(火)・16日(木)、物産センター山桜、Aコープかつら、エコス城里店において防犯キャンペーンが実施されました。

これは、全国地域安全運動の一環として行われているもので、安全で、安心して暮らせる地域社会を築くため、一人ひとりの防犯意識を高めることを目的としています。

キャンペーンには金長町長・赤津副町長をはじめ笠間警察署員、町の防犯連絡員が参加。買い物客らにミニ手さげ袋などの啓発品を渡し、防犯対策を呼びかけました。



「とことん茨城を知る ふるさと発見歴史講座」を開催

9月21日(日)、コミュニティセンター城里にて「とことん茨城を知る ふるさと発見歴史講座」が開催されました。

講師に金子末佳先生(元江戸東京博物館学芸員)をお迎えし、「小松原曉子の生涯」(大正期に活躍した歌人・女性新聞記者)と題した講演が行われました。講演の中で先生は、小松原曉子(本名・猿田千代)の生い立ちから中央歌壇・新聞記者としての活躍を中心に「曉子の才能の豊かさ・交友関係の広さ・業績」についてお話しされました。参加者からは「小松原曉子を初めて知った」「地元でこのような素晴らしい女性がいなかったことを誇りに思う」という感想が多数聞かれました。



大麦ばったり、そば当たれ

9月25日(木)、岩船小学校の生徒が「ふるさとのことを教わる会」の学習の時間に、錫高野いきいきクラブの皆さんの協力により「大麦ばったり、そば当たれ」という豊作祈願の伝統行事について学びました。

「大麦ばったり、そば当たれ」は、十五夜の夜、子どもたちが近所の家々をまわり「大麦ばったり、そば当たれ」と言いながら手作りのわら鉄砲を地面にバツタンバツタン叩きつけて作物を狙うモグラを追い払い、モグラを追い払うかわりに子どもたちは十五夜の供え物やお菓子などをもらって帰る、という秋の豊作を祈願する農家の伝統行事です。地域により地面を叩く時に言うせりふやわら鉄砲の作り方などに多少違いはありますが、かつては各地で同じような行事が行われており、昭和20年(30年頃までは町内でも見られたようです)。

体育館でこの伝統行事の説明を聞いた子どもたちは、わら鉄砲の製作に取りかかりました。

いきいきクラブのみなさんの指導を受けながら、慣れない手つきでミヨウガの茎を芯にしてわらを巻き、縄で締めながら棒状の形をつくりました。



広げよう どうぞの気持ちと 車間距離

秋の全国交通安全運動の9月21日～30日の期間中、9月24日(水)、坪小学校入り口交差点にて、街頭キャンペーンが実施されました。笠間警察署や交通安全協会城里支部、交通安全母の会、常北高校の生徒が参加し、交通安全を呼びかけるチラシなどを通過するドライバーに手渡しました。

秋は日没時間が早く、夕暮れ時の事故が起こりやすくなる季節です。皆さんも、自動車を運転するときはライトは早めに点灯し、交通事故には十分気をつけましょう。



加藤盛一さんが法務大臣感謝状

長年の人権擁護委員としての活動を評価され、加藤盛一さん(高根)が法務大臣感謝状を受賞し、10月23日に町長室で伝達されました。加藤さんは、平成8年4月15日に法務大臣から委嘱を受け、10月1日に退任するまで4期、12年間にわたり人権擁護委員として活躍。人権啓発や人権相談など、地域での人権活動に尽力されました。

また、10月1日付けで、和田雅治さん(阿波山・再任)と小田部昌平さん(下阿野沢、新任)が人権擁護委員に委嘱されました。委員の任期は3年です。



ウクレレ教室のメンバー 桂聖明園を訪問

9月25日(木)、岩船地区公民館講座「ウクレレ教室」のメンバーが桂聖明園を訪問し、ウクレレの演奏を披露しました。桂聖明園で演奏を発表するのは今回で2回目です。「見上げてごらん夜の星を」や「銀座の恋の物語」など8曲を演奏しました。施設に通所されている方々はウクレレの音色に聴き入り、演奏に感激していた様子でした。



「エゴマ」栽培に挑戦

皆さん「エゴマ」をご存知ですか？名前を聞くと「ゴマ」の一種と思われるかもしれませんが、シソ科の植物で、東北地方などでは「ジュウネン」と呼ばれる油脂性の植物です。エゴマは縄文時代から食用として、また、平安時代には種子を絞って油としても使われるようになりましたが、江戸時代に菜種油が広がり利用が激減し、一部地域でしか栽培されなくなりました。最近、エゴマには健康によいアルファ・リノレン酸が多く含まれていることが判明し、食用の「エゴマ油」としての価値が見直されています。

健康によいと注目され、なおかつ全国的には作られていないということに着目した町内にお住まいの何名かの方々が、エゴマでまちおこしができないかと栽培を始め、10月には初めて収穫されました。エゴマの栽培が町内に普及すれば町の特産品になり、遊休農地の解消にもつながるかもしれませんね。



城北地方中学新人サッカー大会

9月13日(土)、14日(日)の2日間にわたり、第15回城北地方中学新人サッカー大会が上古内多目的運動広場で、うぐいすの里において開催されました。大会には、常北中学校・桂中学校ほか近隣の中学校から10チームが参加。各チーム懸命のプレーで熱戦が繰り広げられ、常北中が第7位、桂中が第9位の成績を収めました。

城里町軟式野球連盟野球大会

平成20年度第2回城里町軟式野球連盟野球大会が、9月21日と28日の2日間にわたり町内2会場で行われました。試合には12チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。上位の成績は次のとおりです。

優勝 中川製作所
準優勝 レジェンド
第3位 七会ジャイアンツ
スラッガーズ



優勝した中川製作所

少年野球大会で優勝 石塚ビックス

9月23日(火)・27日(土)・28日(日)の3日間にわたり、常陸太田市及び近隣地区野球場において第9回JBCカップ少年野球大会が行われました。城里町からは石塚ビックス・桂コンドルスが出場し、石塚ビックスが見事優勝を勝ち取りました。

